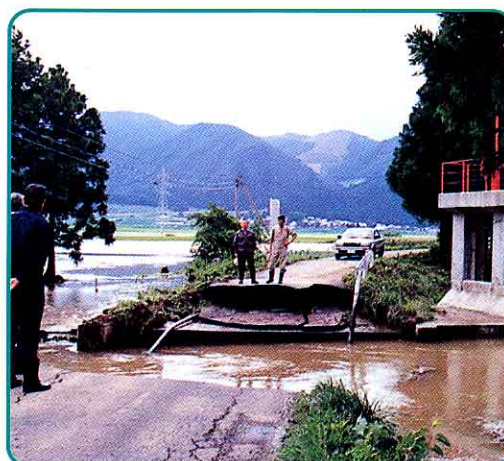


(2) 大水をふせぐ

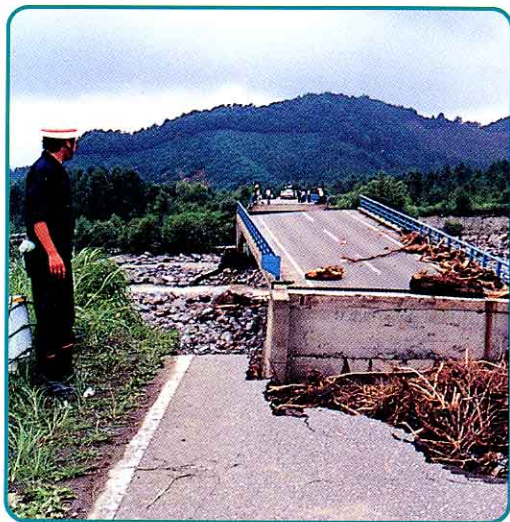
大水のひ害^{がい} 猪苗代町は、ばんだい山やあづま山といった高い山をせにしているため、大雨がつづくとき川があふれ、交通機関^{こうつうきかん}や地域住民^{ちいきじゅうみん}にひ害をあたえることがあります。さい近では、1989年（平成元年）8月の台風13号で大きなひ害をうけました。



土のうを積む消防だん（小倉川）



すんだんされた道路（月輪）



くずされた橋（大倉川）



土しやがながれこんだ家（市沢）